

平成30年度（百合丘高等学校）年間指導計画

教科・科目	芸術・書道 I	学年	第1学年	教科書	光村図書「書 I」
		単位数	2単位	副教材	
学習目標	書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。				
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・考えながら丁寧に書くことが基本です。 ・自分の課題を確認しながら学習しましょう。 ・他人の作品の良さについても考えましょう。 ・道具を大切に使う姿勢が大切です。 				
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨		
	a	書への関心・意欲・態度	さまざまな書の美に関心を持ち、意欲的に表現し、書の美を感じ取ろうとしている。		
	b	書表現の構想と工夫	それぞれの古典の特徴を捉え、表現活動に生かしている。また、表現を工夫して効果的な表現をしようとしている。		
	c	創造的な書表現の技能	基本的な用筆法を習得し、目的や用途に即して、創意工夫した表現ができる。		
	d	鑑賞の能力	作品を客観的に観察し、その特質をとらえ、幅広く理解や見方を深めることができる。		

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価の方法
					a	b	c	d		
前期	はじめに	2	書道の世界にふれよう	書写の基本的な事項確認	○		○		a多様な表現に関心を持っている。 b用具・用材や用筆による表現の変化を感じ取り、表現を工夫しようとしている。 c中学校までに学習した姿勢・執筆や基本点画等を確認し、身に付けている。 d鑑賞と表現が相互に関連し合うことを理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況 ・作品 ・作品カード
				基本的な姿勢・執筆用具・用材の確認	○		○			
			表現の違いを知ろう	効果の違い	○	○				
			自分の表現に繋げよう	表現の基礎	○			○		
前期	漢字の書に親しもう	26	書体の変遷	五書体の時代・特徴と変遷	○			○	a漢字の書体の特徴に関心をもち意欲的、主体的に理解しようとしている。 b古典の特徴を理解し、字形や書風を捉え表現を工夫している。 c用筆・運筆の技法を生かしている。 d漢字の書体の変遷を理解している。初唐の三大家のそれぞれの書体について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況 ・作品 ・作品カード
			楷書を学ぼう	楷書の特徴・成立過程・用筆・書風	○	○	○			
				古典の臨書 唐の四大家と北魏の書	○	○	○	○		
					○	○	○	○		
後期		6	行書を学ぼう	行書の成立過程	○			○	a行書の成立や特徴に関心をもち意欲的、主体的に理解しようとしている。 b古典の特徴を理解し、字形や書風を捉え表現を工夫している。 c用筆・運筆の技法を習得し、表現に生かしている。 d古典が尊重されてきた経緯を理解している。個性や美しさを感じとり筆者の意図を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況 ・作品 ・作品カード
				用筆・運筆の確認	○	○	○			
				古典の臨書	○	○	○	○		
			鑑賞しよう	近・現代の書作品	○			○		
後期	仮名の書に親しもう	18	仮名を知ろう	仮名の特徴 成立過程	○			○	a仮名の基礎・基本の表現技法に関心をもち持っている。 b用具・用材や用筆による表現の変化を感じ取り、表現を工夫している。 c表現技法を高めるために基本的な執筆法を身に付けている。 d仮名の成立等について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況 ・作品 ・作品カード
			仮名の基本を学ぼう	基本的な執筆法 用具・用材	○	○	○			
				平仮名・変体仮名	○	○	○	○		

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価の方法
					a	b	c	d		
後期	漢字仮名交じりの書に親しもう	10	漢字仮名交じりの書を知ろう	表現と美	○				a漢字と仮名の字形や線質に関心を持ち意欲的・主体的に取り組もうとしている。 b漢字と仮名の調和や構成の変化による書表現の広がりを理解している。 c古典の特徴を生かし、漢字と仮名の線質を調和させて表現している。 d漢字仮名交じりの書の作品から個性や美しさを感じ取り、筆者の意図を理解している。	・学習状況 ・作品 ・作品カード
				漢字と仮名の調和構成の工夫	○	○				
			鑑賞しよう	近・現代の書作品の鑑賞	○			○		
			創作しよう	漢字仮名交じりの創作作品制作	○	○	○	○		
後期	暮らしの中の書	2	書を生活の中に取り入れよう	手紙・はがき	○	○	○	○	a実用的な表現について基礎的な事項を理解し、楽しんで表現活動を行っている。 b表現に応じた用具・用材を選択し表現を工夫している。 c漢字と仮名の字形や文字の大きさなど、全体構成を工夫している。 d創造的な表現をするために全体構成	・学習状況 ・作品 ・作品カード
				創作作品	○	○	○	○		
				表書き・自分の名前	○					
合計時数(55分授業)		64								